



米沢有為会  
仙台支部だより

第 26 号

令和3年12月23日

発行者

(公社)米沢有為会仙台支部

支店長 甲 國信

仙台市青葉区角五郎2-6-21

TEL 022-222-4790

2021.12.6 娯楽室前にて全員集合

有為会の近況

時の経つのは早いもので、コロナ禍のもと二度目の正月を迎えようとしています。様々な制約のもと、会の活動は続いています。前二十四号の発行後の大きな出来事として、六月に大滝則忠前会長から平山英三会長への交代があり、百三十周年記念事業としての東京興譲館の改修も行われました。女子入寮も継続して検討されています。これらの活動の詳細は会誌を参照下さい。支部の活動も総会や会員の交流ができない寂しい状況が続いていますが、育英事業関連の活動は行われています。本号では、大きな問題を抱える仙台興譲館の近況を中心に、支部の様子を報告させていただきます。

仙台興譲館の近況

コロナ禍が始まって以来、幸いにも仙台興譲館に感染者や濃厚接触者は出ておりません。しかし、新規入寮者が少なく、寮生数がこれまでで最も少ない七名にまで減少し、寮の運営に赤信号が灯るといふ問題が起きています。事態改善のために、八月に山形新聞の簡易広告(スイング)に中途入寮生募集の広告を掲載しましたが反応はなく、

結局有為会から百万円を超える援助を受けることになりました。寮生の減少は寮生の共通経費の負担増につながり、次年度から、在寮生も含めて寮費五万円への値上げが決定されました。

百三十周年記念事業としての仙台興譲館の改修は令和元年に実施済みですが、三年度は前年度の工事の際に老朽化していることが判明したトイレの接続配管の交換、ほとんど使用していない和風トイレの洋式への改造、厨房の排風機の交換等を考えていました。しかし、寮生の減少により、会から多額の援助を受けなければならない状況に加えて、東京寮の改修が進行中であり、予定外の出費もありうることを考慮し、今年度の改修は先送りすることにいたしました。

仙台支部にとって寮生不足の解消は当面する最大の課題です。寮生会とも連携し寮生の増加に努力します。この問題は速やかに解決し、大きな問題に発展しないようにしなければなりません。つきましては支部会員の皆様にもお力添えをお願いいたします。

コロナ禍の影響で収入が減り、家計への教育費の負担を極力抑えたい家庭は少なくないと思います。皆様の周囲に、仙台で修学を希望する学生や、仙台

**支部だより  
原稿募集**

随想、旅行記、趣味など何でも結構です。次号は6月発行予定、是非投稿ください。

**会員異動**

これまで長い間会を支えて来られた会員の方が高齢となつて退会されています。今後この傾向はますます強まる事が予想されます。会員増強が課題となりますが、新規入寮者の減少は、入会する保護者の減少にもつながっています。会員増強については、十分な取り組みができないうちに年末を迎えることになり、こちらも大きな課題となっています。

(仙台支部長 甲 國信)

で学んでいる学生をお持ちの家庭がありましたら、ぜひ仙台興譲館をご案内いただきたく思います。置賜地区以外の出身者でも会員の推薦があれば入寮できます。関心を示された方には、ぜひ仙台興譲館に問い合わせるようにお勧めください。

**仙台興譲館寮の**

**先輩より**

**近況・メッセージ**

(題は編集長が付けました)

**支援学校に赴任して**

松井結大

私は現在、福島県西郷村にある福島県立西郷支援学校に勤務しております。仙台興譲館寮を卒業してから1年間福島市の小学校で勤務し、去年からは特別支援学校の方で働いております。私の学校がある西郷村は寒冷地にも指定されており、寒さが厳しい地域です。この時期は毎朝、寒さに耐えながら学校に出勤しております。

今は高等部のほうに所属しており、ダウン症や自閉症の生徒と一緒に学校生活を送っています。クラスにはとても人懐っこい性格の生徒が多く、いつも楽しく関わり合いながら授業をしています。その中には気持ちが悪く落ち着かない生徒もいてどのように対応しているか迷ってしまうときもあります。そ

のときは先輩教員に教えていただきながら、日々生徒と向き合っています。毎日、予期していないことが起こり、大変なこともあります。生徒の笑顔に励まされながら充実した日々を過ごしています。

先日は2年生の修学旅行があり、一緒に会津若松の鶴ヶ城と飯盛山に行きました。事前学習で赤べこや鶴ヶ城の歴史について学び、実際に目の前で学習した鶴ヶ城や赤べこを見て生徒が喜んだ表情を見せたときに私はとても嬉しい気持ちになりました。コロナウイルス蔓延という社会情勢の中、日頃遠出ができない生徒にとつては格別な体験だったのでないかと感じています。



鶴ヶ城石垣と修学旅行の生徒

学校での事後学習でも学習したことを丁寧にまとめている様子が見られました。コロナウイルスによって学校行事

がほとんどなくなってしまった分、生徒にとつて学校行事の意義・大切さというものを改めて感じました。普段の授業でも生徒が「分かった」という反応を見せてくれるときや生徒と何気ない会話を楽しんでいるときに教師という仕事に対するやりがいや心の底から感じています。

今改めて振り返ると仙台興譲館寮で過ごした仲間との日々は私にとつてかけがえのない思い出の一つとなっています。歓迎会、忘年会、どんと祭、送迎会などの行事のほかに日頃の生活の中で先輩や後輩、同期とご飯を囲んで食べたことが私の中でも印象に残っています。私自身、4年間様々な大学の人との共同生活を体験したことで人間的に成長できたのではないかと感じています。このような素晴らしい経験をさせてくださった米沢有為会のみならずには大変感謝しております。これからも仙台興譲館寮が末永く続いていき、未来の明るい人材をサポートしていただけるように陰ながら応援していきたいと思えます。

(平成元年卒業・福島県立西郷支援学校勤務)

### 母校に赴任して

山口憲武

令和元年に大学を卒業し、仙台興讓館寮を出てから早くも3年近く経とうとしています。卒業して1年目は常勤講師として高島高校にお世話になり、無事教員採用試験に合格することができました。昨年、母校である米沢興讓館高校に赴任し、今年からは念願であった自分のクラスをもち、後輩の指導をしております。

社会人も3年目になり、大学時代を振り返ると、やはり仙台興讓館寮での思い出がたくさんあります。地元米沢を離れ、期待と不安で胸がいっぱいだった大学生活を、置賜出身という共通点がある学生と生活できたのはとても有意義なものであったと思います。高校の同級生であった3人が寮の同期であったことは非常に心強かったです。また、寮には大学生の先輩はもちろん、大学院生の先輩もいらっしやあって、大学に入ったばかりであった私たちに様々なことを教えてくださいました。また、甲先生、滝口先生をはじめとする米沢有為会の先生方や明るく優しい寮母さんのサポートを受けながら大学生活を送ることができました。後輩が入ってきてからは、もっと寮が賑やかで

楽しいものになりました。今思い返しても、寮生たちと飲み会をしたり、麻雀などゲームと一緒にしたりして交遊を深めたことは現在の自分にとって非常に大きな財産であると思います。自分の部屋から出てたつた1秒で友達がいるということはとても大きなことでした。

すべてを思い返していると紙面が足りなくなるほどですが、数々の行事や日々の思い出が今でも自分の大学生活の大部分を占めています。本来であれば、仙台を訪れて、寮の同期や後輩とまた酒でも飲みたいなあと思いつつもそれができなくて残念であった2020年でした。

ようやく2021年の秋口になって1年半以上ぶりに仙台を訪れました。寮に寄ることはできませんでしたが、また仙台を訪れた際はご挨拶に伺いたいと思います。また、寮の同期3人も置賜や近県にいるためたまに集まって昔話をしながら酒を飲むようになってきたのもうれいことだなと思います。話があちこちに行ってしまうことが、現在寮では教育実習でかわった生徒や米沢興讓館高校でかわった生徒が在籍していると聞き、たいへんうれい気持ちになっております。また、自分たちが寮にいたときに負けないぐらい、寮が賑やかなものになってほし

### 仙台支部年間行事予定

※仙台興讓館行事

■12月

※忘年会 (寮生会主催) (会場: 仙台興讓館) ↓ 中止

※1月14日(土) どんと祭 ↓ 参加中止

■1月

※新年会兼卒業生歓送コンパ (寮生会主催) (会場: 仙台興讓館) ↓ 中止

※2~3月 温泉旅行又は食事会 ↓ 中止

※3月 末日 寮生総会

- 1月 9日(日) 第一回入寮面接
- 2月27日(日) 第二回入寮面接
- 3月10日(木) 第三回入寮面接
- 3月23日(水) 第四回入寮面接

### 会員異動

敬称略

- 入会 日下義博 (賛助会員)
- 退会 猪俣良市 (正会員)
- 名義変更 鹿又桂司から鹿又由紀子 (賛助会員)

### 寮の庭の植物

ビワの実の盗難と

### カゲロウの大発生

今年は今まで見られなかった大事件が2件起こった。一つは寮の庭に生えているビワの実の盗難事件である。食堂の西側の狭い通路に樹高5m位の1本のビワの木が生えている。館長は狭い寮の庭の草取りを鎌を使ってやるので何がどこに生えているかはよくわかってはいるが、まさかそのビワの木に実がなるとは全く認識していなかった。7月の中頃、寮母さんから甲支部長に電話があり「食堂前のビワが熟して

